

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園高等 学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピック開催を身近に感じよう！

【実施学年、部、講座等】

全学年(1年:647名 2年:674名 3年:640名)

【目的・ねらい】

- ・オリンピック開催をより身近に感じさせる。
- ・オリンピックというスポーツの祭典の調べ学習を通して、国際理解を深める。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科 () ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組 ()

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

○本校の文化祭期間に、国際部の教室において、オリンピックに関して調査し、模造紙にまとめた展示発表を行った。

<調査内容>

- ・オリンピックの歴史
- ・開催地一覧(←世界地図に開催経験のある国の国旗を貼り付ける形式)
- ・オリンピックの意義

卓越、友情、尊重の価値を実現し、スポーツを通じ、平和な社会を推進することを目指すオリンピックの精神(オリンピズム)と、勇気、決断力、平等、鼓舞の価値を具現化するパラリンピックの精神を、学習を通して学ぶ

・種目一覧

オリンピック・パラリンピック競技大会で実施する種目の調査

・注目選手

活躍が期待される種目、日本選手、外国人選手の調査

・リオデジャネイロオリンピックに関するアンケート

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・来場者に少しでも興味を抱いてもらうように、単なる文字の羅列から写真やイラスト、表を用いた展示発表とした。
- ・アンケートでは、シールを用意して、投票数が即座に分るようにした。
- ・展示物の準備を通して、オリンピックについての考察を記載させた。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・予想以上の来場者であった。(集計はとっていない)
- ・来場者のほとんどがアンケートのシール貼りに興味を持ち、シールを貼った後他の展示物についても脚を止めて見入ってくれていた。
- ・国際部の部員は、オリンピックについて調べ学習をすることにより、オリンピックというものをスポーツの祭典の枠を超え地球全人類の共通認識・共通理解を図れる一隅のチャンスだと認識することができた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

特にありません。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園 学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

おもてなしの心：宮城県を訪れた外国人に道案内

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子54名・女子 67名）

【目的・ねらい】

- ・様々な国々から宮城県を訪れる外国人観戦者に対して、心ある道案内ができるようにする。
- ・オリンピック開催が一つの契機となり、世界共通語である英語の重要度が増すことを体験させる。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

(実施内容) ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

- ・第一学年総合実践コース4クラスにおいて、英語の教科の中で道案内についての単元を学習させ、習得を測るテストとして行う。
- ・ALTを迷子の外国人観戦者に見立て、一対一の話形式での実習
- ・道案内にとどまらず宮城県の魅力を伝えられるように、地域の良さの理解を深めるとともに、海外の方々に対するおもてなしの技術や態度を身に付ける。

(実践上の工夫点、留意点等)

- ・おもてなしの心がある返答となっているかも評価基準の一つとした。
- ・外国の方々に対し宮城県の良さを具体的に伝えられるように、県内の観光や産業に関する知識・理解を深める取組を行わせた。

(成果) ※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・英語での道案内を考える前段階で、日本語で上手に伝えられるかも大事だということを気付かせることができた。

- ・困っている人にはたとえ外国人であっても救いの手を差し伸べるべきだと思わせることができた。
- ・宮城県について、改めて学ぶ機会になり地元に対する理解を深めることができた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

特にありません。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 私立 聖和学園 学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

障害者と交流しよう。障害者への潜在的意識を知ろう。

【実施学年、部、講座等】

JRC 部（男子6名・女子 34名）

【目的・ねらい】

- ・障害者と接する機会を作り、健常者と障害者の間に潜む壁を取り除く。
- ・パラリンピック開催がどのような意義を持つのか考えさせる。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・**特別活動**
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

（実施内容） ※適宜、様子を示す写真、図表、記録を含めてください。

- ・障害者への潜在意識調査
- ・障害者との交流会

高校生としてのキャリア発達（社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を
実現していく過程。）や地域貢献を目的として、ボランティア活動を推奨してきた。その取組の
一環として、近隣の福祉施設と連携し、交流会を行い障害者理解と実践の場とした。

（実践上の工夫点、留意点等）

- ・普段、見かけることはあっても実際に接する機会が少ないので、交流時間を多く設ける。
- ・身体障害者や発達障害者、学習障害者など多岐に渡る障害者と交流させる。

（成果）※児童・生徒の学習効果、意識変容等の効果について、可能な範囲でアンケート結果等概要を記入してください。

- ・障害者と交流する機会を初めて持った生徒が大半であり、初めて障害者を身近に感じる
ことが出来たようであった。
- ・障害者でありながら、一つの特技を極めようとする姿勢が凝縮されたパラリンピックに
大きな関心を持てるようになった。

・障害者からその後に依頼されたボランティア活動に数名の生徒が参加した。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

※オリンピック・パラリンピック教育の継続的な展開に向けて、実践を通して得られた課題点がございましたら、自由に記述してください。

特にありません。